「相談」のかたち

—動詞“商量”“谈话”について—

伊藤　加奈子

キーワード：　“商量”　“谈话”　動詞　類義語　日中比較

1．　「相談する」は“商量”なのか？

中国語で「相談する」を意味する動詞には“商量”が最も代表的なものとして存在する。そしてその類義語としては、“商榷”“协商”“讨论”があげられるのが一般的である。これらにどのような説明がなされているか確認してみよう。

・《近义词应用词典》p541-542 より

【商量】交换意见。（意見を交換する）

【商榷】商讨。（検討する）

【协商】共同商量以取得一致意见。（共同で相談することを通じ一致した意見を得る）

分析：“商量”は口語体でよく用いられ、一般的な問題についていい、“商量商量”の繰り返し型にすることができ、「互相商量（互いに相談する）」「要和群众商量（民衆と相談すべきである）」のように用いる。“商榷”は文語で、尊敬と遠慮の色彩を含み持ち、書面語でよく用いられる。多くは学術問題についていい、「中国历史分期问题尚待商榷（中国の歴史時期区分の問題はなお検討が待たれる）」のようにいう。またその他慎重に検討すべき重要な問題について、「条例大有商榷的余地（条例には大いに検討の余地がある）」のようにいう。“协商”は共同して正式に協議することをいい、多くは重大で、特に社会的・国際的な問題について用いる。「这问题要协商解决（この問題は協議し解決せねばならない）」など、一般には厳粛なニュアンスを帯びる。（原文は中国語、訳は筆者による）

・『どうちがう？—中国語類義語のニュアンス(2)』p152-153 より

【讨论】【商量】【商榷】の項目にて：

“讨论”はお堅いテーマ・比較的重要で複雑な問題について、ある程度の数の人間が集まって意見を出し合い、統一見解を導き出すことをいう。会話でも書面語でもどちらでも用いる。“商量”は“讨论”に比べると一般的で広く日常の瑣末な事柄までも含む　一般的な事柄への対処の仕方について自由に（参加人数もまた自由）話し合うことをいう。主に会話で用いる。“商榷”は学術問題について意見交換する場面で多く用いる。また、ある人の見解ややり方が正しくないという共通認識を持った人間が、正しい見解を導き出すべく意見交換を行う。文章により自分の考えを表明するケースが多い。書面語として用いる。（原文説明を筆者が整理した）

・《现代汉语常用词用法词典》p1032 より

【商量】の項目にて：

表示就具体事情非正式交换意见时，通常用商量：

（具体的な事柄について正式でない形で意見を交換することを表す場合には、普通“商量”

を用いる）

*我们有件事要跟老师讨论。

私たちは先生と討論・相談したいことがあります（商量ならば文は成立する）

これらの類義語は、口語 vs.文語／ごく日常的で一般的な問題 vs.重要で複雑な時に学術的社会的国際的な問題、といった対比で色分けされていることが分かる。しかし実際「相談する」場面を想定して、それを言い表すときに用いられる語を見ると、必ずしもこれらの動詞がカバーしているのではない。

1）無断欠席が多いため、指導教員の○○と□□は、今後のことについて本人とともに話し合いの機会を何度も持ちました。

2）由于无故旷课过多，指导教员○○和□□曾多次就今后的打算与其进行了谈话。

3）??由于无故旷课过多，指导教员○○和□□曾多次就今后的打算与其商量。

4）??由于无故旷课过多，指导教员○○和□□曾多次就今后的打算与其讨论。

（例文 2）～4）はインフォーマントチェックを経た作例である）

4）“讨论”については学術方面といった堅めの問題について用いるのが一般的であることからこの場面にはそぐわず、3）も学生と教員が話し合いをする場面に語感が合致せず、いずれも成立が難しいとのことである。

日本語の例文1）については、「今後のことについて本人とともに相談する機会を何度も持ちました」「今後のことについて本人とともに何度も相談を重ねました」のように表現してもこちらは十分許容され、文の成立に問題はない。ここで日本語の「相談する」「話し合う」についても確認してみよう。

・goo 辞書、三省堂提供「大辞林 第二版」より

そうだん　さう― 0 【相談】

（名）スル

物事を決めるために他の人の意見を聞いたり、話し合ったりすること。また、その話し合い。「旅行の日程を―する」「―に乗る」

はなしあ・う　―あふ 4 【話し合う】

（動ワ五［ハ四］）

(1)お互いに話をする。かたらう。「楽しそうに―・っている若い二人」

(2)互いの意見を出し合って、結論を導く。「係の者と―・って決める」［可能］ はなしあえる

・小学館『現代国語例解辞典』第二版 p733 と p1027 より

【そう-だん 相談】＜―する＞　どうするかを決めるために話し合うこと。また意見を述べてもらうこと。『相談を持ちかける』『友人に相談する』

【はなし-あ-う 話し合う】〔動五〕　互いに思っていることを話す。語り合う。相談する。『問題解決について話し合う』

小学館『日中辞典』初版 p1071 より

【相談】

1《話し合い》商量；［協議する］协商，协议，磋商；［口頭の］商谈；［相談して決める］商定

友達と相談する　和朋友商量
相談を持ちかける　提出问题来商量
2《意見を聞くこと》征求意见，请教；[政府が関係機関や顧問に] 咨询
3《意見を出すこと》提出意见，建议；[みんなに] 提议
同じく小学館『日中辞典』初版 p1534 より
【話し合う】
1《語らう》谈话，对话
この問題について徹底的に話し合おうじゃないか
就着这个问题咱们彻底谈谈〔商量一下〕吧
2《相談する》商量，商谈；[協議する] 协商，谈判
彼と仕事のことで話し合う　跟他商量工作。
旅行の計画をみんなで話し合った　一起讨论旅行计划。
（一部例文省略、例文中のアンダーラインは筆者による）

小学館『日中辞典』でも、日本語の「相談する」「話し合う」は似た意味の語として取り扱われていることが見て取れる。『現代国語例解辞典』では「相談」の項について「打ち合わせ」と比較し、その用法の差異を示す表も添付されているが、「打ち合わせ」は今回の考察の対象とはしない。ともかく「相談する」と「話し合う」は類義表現として並び立っているのは確かである。

ここで2）にて「話し合う・相談する」の意味合いで使われている“（进行）谈话”であるが、その基本義は「二人、もしくはそれ以上の人と言葉を交わし、それぞれ自分の考え意見を伝える」である。

・《现代汉语词典 修订本》p1223 より
【谈话】两个人或许多人在一起说话：（二人或いはそれ以上の人が一緒に話をする）
他们正在屋里谈话（彼らは今ちょうど部屋で話をしている）

ここに記されている通り、必ずしも“谈话”＝「話し合う・相談する」をそのまま意味するわけではない。しかし実際のところ“谈话”と“商量”が似たような意味合いで使われることは珍しくない。

5）我有件事想跟您商量一下。（ちょっとご相談したいことがあるのですが）
6）我有件事想跟您谈一下话。（ちょっと話し合いたいことがあるのですが）
7）我们商量了半天，但是没得到结论。（我々は長いこと相談したが、結論は出なかった）
8）我们谈话谈了半天，但是没得到结论。（我々は長いこと話し合ったが、結論は出なかった）
9）你应该跟他商量商量。（彼と相談してみるべきだ）
10）你应该跟他谈一谈话。（彼と話し合ってみるべきだ）

細かなニュアンスの違いは後述するとして、“谈话”と“商量”を近い意味でそれぞれ用いることは可能である。

最初に挙げた“商量”の類義語として取り上げられる“商榷”“协商”“讨论”であるが、多くは基本的に“商”つながりでくくられ分析されるのが専らである。そして“谈话”については“话”関連として、“说话”“讲话”といったフレーズと比較され分析しているものが多い。これは中国語の類義語弁別が同じ字を共有しているものを手がかりにスタートし、考

察を進めるものが多いからだと言えるだろう。

・『講談社中日辞典』第二版 p 1510 より

【谈话】自分の考えや意見などを、相手に分かってもらえるように話す。二人あるいはそれ以上の人と話をする場合で、相互に意見を述べ、会話を交わす。話をする。話し合う。

老师正在和学生谈话（先生が学生たちと話し合っている）

【说话】広く「話す」ことを表す。口を開いて何かを言う。相手の人数などは問わない。話す。しゃべる。言う。

说了半天话儿（長いことおしゃべりした）

【讲话】自分の考えや事の次第などを、大勢の人に伝えるために、一方的に話す。話をする。発言する。挨拶する。

下面请学生代表讲话（では、学生代表にスピーチをお願いします）

（一部例文省略、例文中のアンダーラインは筆者による）

本論はこのような類義語に対する従来のくくりをはずし、“商量”と“谈话”の比較考察を通じて、「相談する」行為が中国語でどのようなイメージで捉えられているか、それを探ることを目的とするものである。

2. “商量”と“谈话”

“商量”と“谈话”の比較を始める前に、先ずこれらは語構成が異なることを記しておく。“商量”は2音節で1語の動詞であり、“谈话”は［動詞＋目的語］構造で成り立っている、所謂離合詞である。そのため、作文においては文法上の必要性から多少語の位置が前後したり、前置詞などが加えられたりするが、この2語を取り巻く語の意味合いは変化するものではないことを確認しておきたい。

前節の5）～10）では“商量”と“谈话”が「相談する・話し合う」の近い意味に解釈できる例を挙げたが、それ以外にも同様に意味が近い例を記す。

11）两人谈话到深夜。（二人は深夜まで話し合った／二人は深夜まで会話を続けた）

12）两人商量到深夜。（二人は深夜まで相談した）

13）他们刚开始谈话，我便赶到了。

（彼らが話し合いを始めたばかりのとき、私はその場に駆け込んだ／
彼らが話を始めたばかりのとき、私はその場に駆け込んだ）

14）他们刚开始商量，我便赶到了。

（彼らが相談を始めたばかりのとき、私はその場に駆け込んだ）

15）商量的结果还算令人满意。

（相談の結果はまあまあ満足できるものと考えてよいでしょう）

16）谈话的结果还算令人满意。

（話し合いの結果はまあまあ満足できるものと考えてよいでしょう）

例 11）13）の“谈话”については、「話し合う」「（単なる）話をする」と解釈が分かれる可能性がある。単なる世間話にせよ、何らかの問題を解決するために言葉を交わす≒話し合い相談するにせよ、“谈话”の基本義である「两个人或许多人在一起说话（二人或いはそれ以上の人が一緒に話をする）」は満たされているためである。この場合 11）13）が用いられる

前後関係から、いずれの解釈になるかを判断することになる。本論の考察では“谈话”の「(単なる) 話をする」意味合いによる二義性は問題に取り上げず、「話し合う≒相談する」に焦点を当てるものとする。

一方“商量”と“谈话”について、「話し合う≒相談する」の意で置き換えると幾分ニュアンスの違いが目立ってくるものがある。

17) 你再找他谈谈话。(また彼と話し合ってきなさい)
18) 你再找他商量商量。(また彼と相談してきなさい)
19) 这件事要跟他商量一下。(この事は彼とちょっと相談しなければ)
20) 这件事要跟他谈一下话。(この事は彼とちょっと話し合わなければ)

日本語ではその違いを訳出するのが難しいが、先ず“商量”は相談する人・される人が対等という感覚があり、そして“谈话”には上下関係が幾分感じられるというのがインフォーマントの反応であった。更に“商量”は「相談する」にしても、「自分がどうしていいのか分からないことにより、その為別の人に助言意見を求める」意味合いであり、一方“谈话”は「相互に自分の意見を相手に伝える」という、こちらはまさに基本義通りであるとのことである。その為例えば18) における“他”は“你”が現在抱えている問題・悩みに直接関わっておらず、“你”は部外者である“他”にアドバイスを求めようとしている場面として解釈しうる。17)“谈话”はお互いに自分の考えを伝え合うわけであるから、“他”も“你”も同じ問題を共有している当事者である解釈に傾く。また19) 20) の“这件事”であるが、比較すると“谈话”のある20) の方がよりシリアスで大事な事柄であると解釈され、“商量”の方ではごく普通の事柄についての相談という意味合いになるようである。19)“商量”は特に家族内で普通に日常の相談をするというイメージが強く、20) を家族間について用いるとかなり重大な事件について、それも相談する相手は恐らく一家の長である父親あたりが当てはまると推察される。

先ほど述べた“商量”は対等な間柄での相談で、“谈话”は上下関係があるのではという感覚についてであるが、語の置き換え処理を施すとだいぶニュアンスが異なってくる例文がある。

21) 遇事要多和群众商量。(問題が起きたら民衆によく相談すべきである)
22) 遇事要多和群众谈话。(問題が起きたら民衆とよく話し合うべきである)
23) 王老师就补考的事儿和我谈了半小时话。
(王先生は追試験のことについて私と30分ほど話をした
→私は王先生から追試について注意を受けた)
24) 王老师就补考的事儿和我商量了半小时。
(王先生は追試験のことについて私と30分ほど相談をした)

21) はいかにも人民の福祉を重んじているような理想的政治家然としたスローガンに使えるが、22) はやや上から目線で人民に対し語っているニュアンスであると、中国語ネイティブスピーカーには感じられるとのことである。22) は文法的には成立しているが、政治家がふんぞり返っている風な印象があることから、当然のことながらスローガンとして使うには不向きである。また23) における“我”は学生で、恐らく赤点を取り追試を受けなければならないことについて教師から小言を言われている意味合いに強く傾き、「相談」というニュア

ンスはかなり薄れてくる。そして24）における“我”は王先生と対等の立場にいる人間、つまり同僚教師という風に解釈され、追試験を受ける立場ではなく、一緒に試験を執り行う側として打ち合わせをしている意味合いとなる。

23）にて追試を受ける学生への注意として使われている“谈话”だが、特に学校教育現場での出来事を言い表す場合、明らかに「相談」という意味合いよりは「教師が問題を抱えた学生に対し、注意・指導をする」意味での使い方になる。

25）学生跟女老师谈话火气大 两位男老师拳脚管教他

2004年02月16日11:50　荆楚在线-楚天都市报

荆楚在线消息（楚天都市报）（记者刘振雄 特约记者关广文）与一女老师谈话时火气大，应城三中一学生遭两名男老师拳脚管教，被打成颅内出血。

接到以上投诉，记者昨日赶到应城，见到了躺在应城市人民医院的学生郑某和3名目击学生。据郑某和目击学生介绍，14日上晚自习时，郑某在教室里踢球，被女老师卢某叫到办公室谈话。 当时，郑某与卢老师火气都很大，旁边的李老师见状，上前打了郑某一耳光，双方随即发生冲突。在另一间办公室的徐老师闻讯，赶过来与李老师一起打了郑某。

（記事日本語訳：学生が女性教師から指導を受けている最中怒り出し、二名の男性教師が殴る蹴るの体罰を加える

2004年2月16日11:50　荊楚オンライン―楚天都市新聞

荊楚オンラインニュース（楚天都市新聞）（記者劉振雄　特約記者関広文）女性教師から注意指導を受けている最中激しく怒ったことで、応城第三高校のある学生が二名の男性教師から殴る蹴るの体罰を受け、脳内出血を起こしました。

上記のような訴えを受け、記者は昨日応城に赴き、応城市人民病院に入院している学生の鄭某君と現場を目撃した3名の学生と面会しました。鄭某君と目撃した学生の証言によりますと、14日夜（補足：一般に18：00～20：00ぐらいの時間帯に行う）の自習時間に、鄭某君は教室内でサッカーをし、女性教師の盧先生に職員室に呼び出され注意をされました。その当時、鄭某君と盧先生はどちらも激怒し、傍にいた李先生がそれを見て、近寄って鄭某君の顔に平手打ちをし、すぐさま双方が衝突することになりました。別の事務室にいた徐先生が知らせを聞きつけ、やってきて李先生と一緒に鄭某君に暴行を加えたのです）

こちらは教育現場における行き過ぎた体罰を伝えるニュースからであるが、自習時間中教室内でサッカーをして遊んでいた学生に対し教師が“谈话”するのは、明らかに叱責・注意するためであると理解できる。教育現場の教師・生徒間であっても“商量”が用いられる場合は、対等であるようなニュアンスが込められる。

26）“老师，跟您商量件事吧？”，我刚下课，小于就凑过来跟我说道，本想不搭理他的，这个家伙这两天还真能粘人，老跟我讨价还价，就像现在我眼前的这张脸——“狡猾”的笑容太明显了，绝对没好事！

（日本語訳：「先生、ちょっと相談してもいいですか？」私が授業を終えたばかりのときに、于君が近寄ってきてそう私に言った。私はそもそも彼に取り合うつもりはなかった。ここ数日この子は実にしつこくまとわり付いてきて、ずっと私にあれこれ言ってきていたので、今私の目の前にあるこの顔――明らかに狡賢そうな笑顔であり、絶対ろくな事にならない！私はそう思った）

これはとある女性教師のブログ日記からであるが、書き出しの台詞はその教師に話しかけてきた学生によるものである。二人称尊敬体“您”を用いていることからこの子供が教師という立場に対しそれなりに敬意を払っていることは分かるが、その後に続く文章では先生に対し少し慣れ慣れしい態度をとるような、時にちょっとばかり先生を困らせるような存在として教師側に受け止められていることがうかがえる。

27) ??“老师，跟您谈谈话吧？”（先生、お話ししたいことがあるのですが？）

28) ??“老师，跟您谈件事吧？”

29) “老师，跟您谈谈话，行吗？”

（先生、お話ししたいことがあるのですが、よろしいでしょうか？）

30) “老师，跟您谈件事，行吗？”

書き出しの台詞にある“商量”を“谈话”、若しくは“谈”に置き換えた 27) 28) では文の成立が幾分不自然となる。これは動詞“谈话”が重要なことについて話をしようという若干シリアスなニュアンスを有していることと、その一方文末で用いられている柔らかい口調でくだけた話しやすい雰囲気を醸し出す効果を持つ助詞“吧”との相性が合わないことに由来すると解釈できる。29) 30) のように“……，行吗？”と伺いを立てる表現にすれば文成立は可能になる。但しその場合、原文が伝えようとする場面と意味合いは当然異なってくる。

もちろん教師と学生といった間柄であっても“商量”の“谈话”、どちらでも使える場面は存在し、単なる上下関係だけが語の選択に影響しているのではない。

31) 与老师商量前途问题 李宇春有意要考研

30日，李宇春赶回四川音乐学院通俗音乐学校拍摄毕业照后，又匆匆赶回北京继续工作。据春春专业课老师余政仪透露，目前师生二人正在商量春春前途问题，不排除考研继续深造。

（日本語訳：先生とこれからの問題について相談を 李宇春は大学院受験の意志あり

30日、李宇春は四川音楽大学のポップス音楽学校に戻り卒業用の写真を撮影した後、また慌しく北京に戻り仕事を続けている。春春＜李宇春のあだ名＞の専攻学科の教師である余政儀氏は、現在師弟二人は春春のこれからの問題について相談しているところで、大学院を受験しさらに研究を続ける道も排除していないと明かした）

32) 与老师就前途问题（进行）谈话 李宇春有意要考研

（日本語訳：先生とこれからの問題について話し合い 李宇春は大学院受験の意志あり）

李宇春とは中国のスター発掘芸能オーディションテレビ番組『2005超級女声』で優勝した成都市出身の李宇春さんのこと。一躍スターダムを駆け上がるチャンスを手にした彼女が学業と仕事の兼ね合いを今後どうするのかということについて報じた芸能ニュースであるが、31)“商量”と 32)“谈话”では後者のほうが若干固い語感があるが、どちらもほぼ似たような意味で用いることは可能である。

3. 対等で語ること、上下関係の存在を前提として語ること、また「相談する」姿勢とは

前節では“商量”“谈话”の性格の違いについて検討したが、更に文成立にかなり差が出てくる例を見てみよう。

33) 老师常常用商量的口气和小班委们说话。

（先生はいつも相談するような口調で、クラスの委員たちと話をする）

34）?老师常常用谈话的口气和小班委们说话。

（先生はいつも話し合いをするような口調で、クラスの委員たちと話をする）

35）谈话是在友好的气氛中进行的。（話し合いは友好的な雰囲気の中進められた）

36）??商量是在友好的气氛中进行的。（相談は友好的な雰囲気の中進められた）

33）で語られている教師像は学生相手であっても決して高圧的な居丈高な接し方にはならず、穏やかな人となりがうかがえる描写になっている。これは“商量”が基本的に同等の立場で相談を投げかけるという意味を持つことによると思われる。一方教育現場で用いられる“谈话”は学生を厳しく注意指導するという世間一般のイメージである教師の姿勢を伝えるニュアンスを帯びる語であり、それが34）のように「先生はいつも“谈话”の口調で～」と作文されると、本来教師が学生に語りかけるときは“谈话”が一般であるはずなのにそれが態々言及されていることに対する違和感が生じる。教師が“谈话”口調であるのは当然のこととして世に受け止められていることなのだから、本来このような表現をされる筈ではないからである。33）はいかにも教師の立場に胡坐をかいた先生が多い中で生徒の身になって物を考え語りかけてくれる少し珍しいタイプの教師について延べているが、34）はいわば言う価値がないのに態々言語化しているというねじれを感じることで成立しにくくなるようである。また35）は普通に文成立するが、36）のように“商量”に置き換えるとこれまた成立度が低くなる。“商量”が内在的に有している対等性はそのまま「同じ目線＝友好的な雰囲気」に当然つながるわけで、これまた態々言及する必要性がなくなるわけである。35）のように上下関係の存在を前提とする“谈话”であれば、その雰囲気は自ずと堅苦しいイメージを基本に持っているわけで、それを敢えて「友好的な柔らかい雰囲気」と述べることで意外性につながり、情報として伝達する価値があると判断されることになる。

37）匿名提问： 2008年文科男生450分能上哪些学校

匿名答复：其实这些你们应该跟老师去商量，不同的省份录取分数线不同，去跟你们老师商量吧 （質問回答共に句読点原文ママ）

（匿名の質問：2008年文系の男子学生ですが450点でどの学校に行けるでしょうか

匿名の回答：そういうことは先生に相談しに行くべき、省が違えば合格ラインも違ってくるのだから、自分の先生に相談しに行きなよ）

37）はインターネットの掲示板でやり取りされた自分の進学についての相談質問と、それに対しシンプルに自分の先生に相談しろという素っ気無く突き放した回答である。この回答の“商量”を“谈话”に置き換えると、このやり取りでは成立が難しくなるということである。

38）匿名提问： 2008年文科男生450分能上哪些学校

匿名答复：*其实这些你们应该跟老师去谈话，不同的省份录取分数线不同，去跟你们老师谈话吧

（匿名の回答：そういうことは先生と話し合うべき、省が違えば合格ラインも違ってくるのだから、自分の先生と話し合いしに行きなよ）

38）は文法的に何ら違反はないわけであるから、この文の成立が難しくなる理由はやはり“商量”“谈话”の性格の違いに求めるより他ない。この質問者は自分自身がこの先どうすればいいのか分からず戸惑っている状態でネット掲示板に書き込みをしており、回答者はそん

な質問者の態度に少し呆れた調子で「自分自身のことなのだから、自分の周辺で先ず情報を得ようとすべきだろ？」と軽くあしらっているのである。なお当掲示板書き込みにはこの１件以外の回答者は現れず、そのまま回答受付終了に至っている。こんな質問にはまともに答えてやる気にならないという掲示板ユーザの姿勢が反映されているとも言えるだろう。このように“商量”には、相談をする側が自分の考えが定まっていない、どうしてよいか分からないのでとりあえず他者に意見を求める(それは時に丸投げという形をとることもありうる)という意味合いが強いようである。それに対し“谈话”は「两个人或许多人在一起说话（二人或いはそれ以上の人が一緒に話をする)」が基本義であるからして、それは相手が自身の判断による考え・意見を語るのは当然のことであるのに加え、話し合いを持ちかけた側もまたそれなりに言語化して語ることができる自身の考え・意見を有していなければならない。「今の状態で自分の進学先はいったいどうなるのだろう？」とただ戸惑い、頭の中が白紙状態の人間に“谈话”することはできないという理解により、38）はこの場面の回答として非文になるのではと考えられる。

他にも“商量”“谈话”相互の置き換えがしにくい、若しくは困難な例も存在する。

39）咱们正商量着明天卖粮的事儿。

（うちらは今ちょうど明日の穀物の売り方について相談しているところだ）

40）?咱们正就明天卖粮的事儿谈着话。

（うちらは今ちょうど明日の穀物売り方について話し合っているところだ）

41）你得赶快跟大伙商量商量对付敌人的办法。

（君は急いで皆と敵に立ち向かう方法を相談しなければならない）

42）??你得赶快就对付敌人的办法跟大伙谈谈话。

（君は急いで皆と敵に立ち向かう方法を話し合わなければならない）

39）は農家の人間が明日の商売をどうしようかと家族・仲間内で相談しようとしている場面である。動詞“商量”は直接後ろに相談する事柄を目的語として続けることが可能であるが、“谈话”は動目フレーズであることから、相談する事柄を一文に収めたい場合は前置詞“就”や“关于”を用い、状語として動詞の前に置く形になる。しかし 40）42）は成立度合いが低いようである。これらの文の用いられている場面が家族や仲間内であることから、上下関係を匂わせる“谈话”の使用がそぐわないことに由来するようである。41）の例では敵に対し皆で知恵を絞り一緒に立ち向かおうしている場面であるのに対し、42）では“你”がまるでリーダーの立場に立たされ皆に敵に立ち向かえああしろこうしろと口上を述べるような解釈に受け取られ、自然な理解から遠ざかってしまうことにつながると思われる。

なお「咱们正谈着明天卖粮的事儿。」のように言うことは可能だが、これは「うちらは明日の穀物の商売について（ただ）話をしている」という意味で、ここに「相談する・話し合う」という意味合いはない。

４．　「相談」のかたちとは

以上のように、中国語で「相談する・話し合う」表現において一般に見られる動詞“商量”“谈话”について比較考察を進めてきた。その中で取り上げた例文に対してそれぞれつけた訳文であるが、中国語では置き換え操作によって非文になったりするものが少なくない反面、

日本語の方では「相談する・話し合う」の入れ替えによって文成立に影響を及ぼすほどの違いは感じられない。これはつまり、日本語での「相談する・話し合う」に比べ中国語の“商量”と“谈话”は、対等性や上下関係、相手の意見を求めることに主眼を置くかそれとも相互に意見を交換することを述べるのか、これら種々の要素を言い表さんとする形がクリアであることにより、それぞれ使用場面がよりくっきり限定区別されることによるのではと推察される。

日本語動詞表現は目的に重きを置き用いられ、中国語動詞表現はどのようにその動作を行うのかビジュアル的に捉え述べる傾向が強いというのが、従来述べられている日本語と中国語の性格の差異に関する定説であるが、「相談する・話し合う」と“商量・谈话”もまた従っていると考えられるだろう。

例えば下の２文を比較してみよう。文だけを見るならいずれも成立には問題ない。

43）谭国强与学校老师商量复课。

（譚国強氏は学校の教師と授業再開について相談した）

44）谭国强与学校老师对于复课谈话。

（譚国強氏は学校の教師と授業再開について話し合った）

しかし次頁画像のような光景を合わせて考えると、当画像キャプションに相応しいのは45）であり、後者46）は使いにくいだろうというのがインフォーマントの意見である。

45）谭国强（右）与学校老师商量复课。——南方都市报记者摄

（学校の教師と授業再開について相談する譚国強氏（右）——南方都市新聞記者撮影）

46）?谭国强（右）与学校老师对于复课谈话。——南方都市报记者摄

（学校の教師と授業再開について話し合う譚国強氏（右）——南方都市新聞記者撮影）



谭国强（右）与学校老师商量复课。——南方都市报记者摄

※画像アップローダサイト“网易拍拍”から、元画像は南方都市新聞記者撮影の報道写真で、本来のカラー写真を縮小・グレースケールにて掲載している。

この譚国強氏という人物は、2008 年 5 月に発生した四川大地震で大きな被害を受けた汶川県映秀小学校の校長である。なお譚氏は 2008 年 8 月 4 日に中国の四川省楽川市で行われた北京五輪聖火リレーの最終走者にも選ばれ、現地復興の役割を担う人物の中でもプロパガンダ的に大きく取り上げられ有名になった人物でもある。

この画像を見るに、大地震で壊滅的被害を受けた映秀小学校の敷地か若しくはその付近であろうと思われる場所に小さなプレハブがいくつも建てられ、復興作業はまだまだ着手したばかりの段階であることをうかがわせる。学校自体が存在しなくなってしまったという未曾有の異常事態に対し、復興作業のため着ていると思われるＴシャツ姿というラフな格好の譚校長自身もどこから手をつけていいのか考えあぐねている表情にも見える。このような背景、基礎知識をベースにこの写真につけるキャプションには 45）46）のどちらが相応しいのかを考えると、校長：ヒラの教員という垣根を取り払い平等な立場で、また校長自身にしても必ずしも明確な意見考えがあるわけではない（＝正直どうしてよいか分からない）ので他者の意見を素直に広く求めるという語感を持つ 45）“商量”を用いた側が、より適切であるとして選ばれると解釈できよう。

以上のように、中国語における「相談する」行為については、相談する側・される側との関係、相談する側がどれだけ自分の意見と考えを有しているか（相談相手の意見を求めるだけの姿勢になるか、それともそうではなく自分の考えも相手に伝えるのかどうか）が当面の弁別要素の鍵となるであろう。しかしそれだけではまだ解決しきれない例が存在する。

47）谈话的时间定在明天上午，谈话的意图还不清楚。
（話し合いの時間は明日午前で、話し合いの意図はまだ不明である）

48）*商量的时间定在明天上午，商量的意图还不清楚。
（相談の時間は明日午前で、相談の意図はまだ不明である）

49）听说他们商量过几次，不知商量出办法来了没有。
（彼らは何度か相談したようだが、いい方法が出たかどうかは分からない）

50）*听说他们谈话谈过几次，不知谈出办法来了没有。
（彼らは何度か話し合いをしたようだが、いい方法が出たかどうかは分からない）

51）你不要把这次谈话的内容告诉别人。
（今回の話し合いの内容を他の人に言ってはいけない
／今回の話の内容を他の人に言ってはいけない）

52）*你不要把这次商量的内容告诉别人。
（今回相談した内容を他の人に言ってはいけない）

47）48）については“定在”“意図”といったやや固いニュアンスを有する語彙が文中にあり、それらと同様に固い表現にも使える“谈话”、そして多く口語で用いられる動詞“商量”との相性の違いで成立度合いに差が出ているのかとも考えられるが、詳しくはこれからの検討課題である。

非文になっている 50）については前節のみ“听说他们谈话谈过几次，～”ならば問題ないのだが、後節“谈出办法来”に見られる動詞と方向補語・目的語との組み合わせは違和感があるとのことである。

51）52）は相談者との関係性や、固い口調の語彙との相性といったものとはまた別の理由により生じている現象であると考えられる。なお 50）“谈话”は「話し合い」という意味だけでなく、単なるただの「会話・話」という意味合いでも解釈されうる。更に次のような例もある。

53）他听到了我们的谈话。（彼は私たちの話を聞いていた）

54）*他听到了我们的商量。（彼は私たちの相談を聞いていた）

54）は成立せず、更に文としては成立している 53）も、「話し合い」という意味では解釈できないとのインフォーマントからの意見を得た。つまり「彼は私たちの話し合い（相談）を聞いていた」という意味では文が成立しないということである。

“谈话”については、そもそもが“两个人或许多人在一起说话（二人或いはそれ以上の人が一緒に話をする）”という意味であったのが、「話し合う≒相談する」という意味で解される理由は何であるか、それははっきりしていない。「相談する」という行為は当然のことながら「複数人が言葉を交わす」行為をベースにしているのは言うまでもないが、これらの行為を区分けしている要素は何であるか、それを探ることも今後の検討課題である。

【参考文献】

《现代汉语词典 修订本》中国社会科学院语言研究所词典编辑室编　商务印书馆 1996

《新编汉语多功能词典》冯志纯　周行健主编　国际文化出版公司 1989

《现代汉语常用词用法词典》李忆民主编　北京语言学院出版社 1995

《近义词应用词典》陈炳昭编著　语文出版社 1987

『どうちがう？—中国語類義語のニュアンス(2)』相原茂・大川完三郎・荒川清秀・杉村博文編集　東方書店 2000　（“讨论”“商量”“商榷”の項目担当は中桐典子）

『日中辞典』北京・対外経済貿易大学、北京・商務印書館、小学館編集　小学館 1987

『講談社中日辞典』第二版　相馬茂編　講談社

『現代国語例解辞典』第二版　林巨樹監修　小学館 1993

【ネット言語資料 URL】

25）学生跟女老师谈话火气大　两位男老师拳脚管教他
荆楚在咀线－楚天都市报 2004 年 02 月 16 日 11:50
http://news.sohu.com/2004/02/16/03/news219090395.shtml

26）跟悠商量件事吧
http://www.weihaiedu.cn/oblog/u/zhizihua/archives/2008/7957.html

31）中国教育在线より　与老师商量前途问题　李宇春有意要考研
http://wwwedu.cn/20051101/3158326.shtml

37）匿名答复：其实这些你们应该跟老师去商量，不同的省份录取分数线不同，去跟你们老师商量吧
http://zhidao.baidu.com/question/57889383.html

45）谭国强（右）与学校老师商量复课。——南方都市报记者摄
http://pp.blog.163.com/pgl/37/370579.html

（2008年10月31日受理、11月18日掲載承認）